

第38回

前田一步園賞

第11回

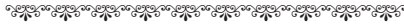
一步園ジュニア
自然環境賞

~~~~~  
受賞者紹介  
~~~~~

一般財団法人
前田一步園財団



前田一步園賞



- 趣 旨** 北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する分野で活躍しておられる団体、個人の優れた業績を顕彰して前田一步園賞を贈呈します。
- 対 象**
- (1) 自然保護思想の普及啓発に顕著な業績のあったもの
 - (2) 自然環境の保全とその適正な利用に関する調査研究に顕著な業績のあったもの
 - (3) その他、自然環境の保全とその適正な利用に関する活動に顕著な業績のあったもの
- 賞**
- 賞 状
副 賞 300,000 円



一步園ジュニア自然環境賞



- 趣 旨** 北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関して、特色ある活動を実践する小中学生を中心とした団体の業績を顕彰して一步園ジュニア自然環境賞を贈呈します。
- 対 象**
- (1) 活動が実践的かつ継続性があるもの
 - (2) 地域に根ざした特色ある活動であること
 - (3) 学校のカリキュラムまたは課外活動などの活動形態は問わない。ただし、特定の企業・団体に付随した営利的な活動でないこと
- 賞**
- 賞 状
活動資金 100,000 円

審査講評

この度の第38回前田一步園賞並びに第11回一步園ジュニア自然環境賞の審査経過について、ご報告いたします。

審査委員会のメンバーは、自然保護などを所掌する国、道の行政機関及び公益財団法人から、それぞれ主管されているお立場の皆さま方と、北海道大学から動植物の研究を専門とされるお二人の教授の方々、合計6人で構成されています。

今回は、9月22日に札幌市内の会議室で、十分なコロナ対策を採った中で開催されました。

- 1 今回の審査案件は、一步園賞が個人2件、団体7件の計9件、ジュニア自然環境賞が団体4件でした。いずれの案件も、北海道庁及び道内市町村また教育委員会の各行政機関から、書面をもってご推薦を頂いております。
- 2 審査委員会は、今回提出された案件のそれぞれの活動内容について、
 - ① 北海道の豊かな自然環境の保全と利用、また自然保護思想の普及啓発という観点から、顕著な業績として評価できるかどうか。
 - ② その活動が実践的かつ継続性があり、地域に根差した長期で特色ある活動であるかどうか。
 - ③ 更にまた、一步園賞は、自然環境の保全と利用に関する北海道における先駆的な顕彰事業として、この約40年間、いわば、目立たず隠れていたような、これまで陽が当たってこなかったような道内各地の地道な活動を顕彰してきた経緯から、そうした「一步園賞らしさ」などという観点からも審査したところです。
- 3 審査委員会では、毎回、長時間にわたり、それぞれの専門委員のお立場から忌憚のない意見が活発に出されて、熱心に審査が行われていますが、今回は、特に一步園賞の応募数が9件と多く、またジュニア賞候補4件のうちから、それぞれ2件を選考するに当たって、各委員共大変苦慮したところです。

その結果、別紙の一步園賞の2件、ジュニア自然環境賞の2件をこれからの北海道や郷土の自然環境の保全と利用を図るうえで受賞に相応しい活動として高く評価いたしました。

今回受賞された4件の関係者の皆様方の長期にわたる地道で熱心な素晴らしいご活動に、審査員一同、心から敬意と感謝を表する次第です。

今後とも、北海道のまた郷土の豊かな自然環境を守り育て、さらに活かしていくために引き続きご活動頂けますよう、心からお願い申しあげて審査報告と致します。

2020. 9. 22

審査委員長

梶本 孝博（一般財団法人 前田一步園財団理事）

【受賞】

大雪山マルハナバチ
市民ネットワーク



美瑛白金模範牧場緊急モニタリングより

設立年月／平成18年9月

代 表／福地 徳次

住 所／上川郡美瑛町憩が丘2-1

会 員 数／58名

〔業 績〕 東京大学保全生態学研究室と連携して、大雪山及びその前線となる西側地域を主なフィールドに、特定外来生物であるセイヨウオオマルハナバチについて防除活動や学習会の開催、突哨山や高山帯（黒岳、旭岳など）の様々なエリアでの生息・繁殖モニタリングを実施する傍ら、それらのデータを基にした講演会やパネル展示など一般市民への普及啓発活動にも尽力。

〔推薦者〕 上川総合振興局

局 長 中 島 俊 明

【受 賞】

黒松内ブナ林 再生プロジェクト



ブナの種子集め作業より

設立年月／平成18年12月

会 長／忠鉢 廣喜

住 所／寿都郡黒松内町字黒松内512-1

構成員数／48名

〔業 績〕 黒松内岳の笹地にブナ林を再生したいと考えた有志により、試行錯誤を重ねながら、独自のブナ林再生手法を確立し、北限のブナ林の再生に尽力する傍ら、エコツアーの新たな形として、ツアーがもたらす自然への負荷分をブナ林再生活動として補うブナ林再生植樹ツアーの企画、ブナ種子の配布（里親募集）やドローンによるブナ林映像の上映等を通じてブナの大切さ、素晴らしさを伝える普及活動にも取り組む。

〔推薦者〕 黒松内町教育委員会

教育長 内 山 哲 男

【受賞】

浜頓別町ジュニア
ガイドアカデミー



ベニア原生花園でのガイド模様より

活動年数／11年

代 表／千田 幹太

児童代表／小西 優海

団体構成／8名（指導者 2名 小学生 5名 中学生 1名）

住 所／枝幸郡浜頓別町中央南1番地

〔業 績〕 浜頓別町の自然や観光資源を体験・学びながら、積極的に町内外への広報にも資する活動をガイドという形で発信。具体的にはクッチャロ湖やベニア原生花園での活動をはじめ、かまくらを掘り一晚を過ごす「耐寒キャンプ」、漁業見学やサケ・マス孵化場見学、砂金掘り体験などで得られた知見なども活用して様々な機会（町民向け講演会、酪農学園大との環境キャンプ、全国KODOMOラムサール等）を通して発信。

〔推薦者〕 浜頓別町

町 長 菅 原 信 男

【受賞】

わくわく 自然体験教室



「虫のいえ」制作活動より

活動年数／27年

代 表／佐藤 正美

児童代表／大西 ゆりか

団体構成／67名（指導者 40名 小学生 22名 中学生 5名）

住 所／紋別郡遠軽町丸瀬布中町3番地

〔業 績〕 遠軽町丸瀬布及び白滝地域をフィールドに、昆虫採集による生態調査やウチダザリガニ等の外来種駆除を通じて生態系への関心を高め、在来種の保全活動を実施する傍ら、「東洋一の黒曜石原産地」と評される黒曜石を活用したエゾシカ肉の調理実習など、四季を通じた自然の中での体験活動を通して、地域特有の自然や文化、歴史風土に対する「郷土愛」を育む活動を実践。

〔推薦者〕 遠軽町教育委員会

教育長 河 原 英 男

一步園賞ジュニア自然環境賞奨励賞受賞者概要

一步園賞ジュニア自然環境賞 奨励賞について 一步園ジュニア自然環境賞規程

第一条 第二項 一步園ジュニア自然環境賞に選出された候補者以外において、優良と認められた団体は、奨励賞として賞状と副賞（活動資金）5万円を贈呈する。

受賞者

つるいっ子の体験活動グループ “サルルンガード”

所在地 阿寒郡鶴居村鶴居東2-15
タンチョウコミュニティ内

推薦者
鶴居村教育委員会

活動内容

地域特有の自然を知る活動としてキタサンショウウオ、湿原の植物、タンチョウに関連した観察会や調査（餌資源量・巣・観光客向けアンケート等）を実施する傍ら、住民向け活動発表会などの村内外での活動内容や成果の発信。

NPO法人サロベツ・エコ・ネットワーク なまら！！サロベツ∞クラブ

所在地 天塩郡豊富町字豊富東1条4丁目

推薦者
豊富町教育委員会

活動内容

サロベツ湿原をフィールドに、自然保護の大切さやつき合い方、自然に対する思いやりなど豊かな人間性を育みながら地元で幅広い活躍が出来る人材、次世代の環境リーダーを育成するため、1年を通じた自然観察活動をはじめ、植樹などの保全活動などを実践。

前田一步園賞歴代受賞者

年 度	団体・個人名
第 1 回 (昭和58年度)	北海道野鳥愛護会 (札幌市)
	紅林 晃 (江別市)
第 2 回 (昭和59年度)	根室自然教育研究会 (中標津町)
	吉沢 貞一 (函館市)
第 3 回 (昭和60年度)	釧路自然保護協会 (釧路市)
	直井 真 (女満別町)
第 4 回 (昭和61年度)	いしやま中央幼稚園 (札幌市)
	函館山少年レンジャー (函館市)
第 5 回 (昭和62年度)	阿寒町タンチョウ鶴愛護会 (阿寒町)
	青塚 松寿 (羽幌町)
第 6 回 (昭和63年度)	熊石町立関内小学校 (熊石町)
	網走市立郷土博物館友の会 (網走市)
第 7 回 (平成元年度)	阿寒町立阿寒小学校 (阿寒町)
第 8 回 (平成2年度)	富良野大麓自然愛護少年団 (富良野市)
	阿寒国立公園 川湯地域運営協会 (弟子屈町)
第 9 回 (平成3年度)	小澤 敬二 (帯広市)
	森 信也 (斜里町)
第 10 回 (平成4年度)	石川 信夫 (旭川市)
	上川町自然科学研究会 (上川町)

年 度	団体・個人名
第 11 回 (平成5年度)	森の少年隊 (帯広市)
	永田 洋平 (弟子屈町)
第 12 回 (平成6年度)	高橋 武夫 (厚沢部町)
	細川 音治 (弟子屈町)
第 13 回 (平成7年度)	松前・離島小島を愛する会 (松前町)
	ひがし大雪博物館友の会 (上士幌町)
第 14 回 (平成8年度)	松木 恒男 (北見市)
	伊藤 良孝 (鶴居村)
第 15 回 (平成9年度)	吉田 敬直 (稚内市)
	吉田 勇治 (中札内村)
第 16 回 (平成10年度)	玉井 勘一 (深川市)
第 17 回 (平成11年度)	吉田 友吉 (旭川市)
	帯広市野草園運営委員会 (帯広市)
第 18 回 (平成12年度)	保田 信紀 (上川町)
	ユウバリコザクラの会 (夕張市)
第 19 回 (平成13年度)	工藤 光信 (七飯町)
	石井 政之 (斜里町)
第 20 回 (平成14年度)	ERIMO SEAL CLUB (えりも町)
	雨竜沼湿原を愛する会 (雨竜町)

前田一步園賞歴代受賞者

年 度	団体・個人名
第 21 回 (平成15年度)	宗像 和彦 (函館市)
	山歩集団 青い山脈 (福島町)
第 22 回 (平成16年度)	丹野 利春 (長万部町)
	片岡 義廣 (浜中町)
第 23 回 (平成17年度)	自然観察グループ まゆみの会 (苫小牧市)
	野幌森林公園を守る会 (江別市)
第 24 回 (平成18年度)	木村 マサ子 (函館市)
第 25 回 (平成19年度)	宮島沼の会 (美唄市)
	アボイ岳ファンクラブ (様似町)
第 26 回 (平成20年度)	海老澤 巳好 (北見市)
	栗山町いきものの 里づくり推進協議会 (栗山町)
第 27 回 (平成21年度)	北原 武 (小樽市)
	ヒグマの会 (札幌市)
第 28 回 (平成22年度)	小杉 和樹 (利尻町)
	自然愛好グループ ヨシキリの会 (登別市)
第 29 回 (平成23年度)	突哨山と身近な 自然を考える会 (旭川市)
	エゾリスの会 (帯広市)

年 度	団体・個人名
第 30 回 (平成24年度)	旭川みどり21の会 (旭川市)
	尻別川の未来を 考えるオピラメの会 (ニセコ町)
第 31 回 (平成25年度)	村松 詮士 (北見市)
	蜂谷 衛 (弟子屈町)
第 32 回 (平成26年度)	中村 春雄 (江別市)
	特定非営利活動法人 キウシト湿原・登別 (登別市)
第 33 回 (平成27年度)	高橋 慎 (栗山町)
	高岡 潤 (北見市)
第 34 回 (平成28年度)	高嶋 八千代 (釧路市)
	山のトイレを考える会 (札幌市)
第 35 回 (平成29年度)	森田 正治 (中標津町)
	奈良 泰世 (釧路町)
第 36 回 (平成30年度)	特定非営利活動法人 登別自然活動支援組織 モモンガくらぶ (登別市)
	ネイチャー研究会 in むかわ (むかわ町)
第 37 回 (令和元年度)	特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究 グループ (釧路市)
	「道民の森」 ボランティア協会 (札幌市)

一歩園ジュニア自然環境賞歴代受賞者

年 度	団体・個人名
第 1 回 (平成22年度)	自然戦隊 マガレンジャー (美唄市)
	グリーンフォーラム旭川 (旭川市)
	こどもエコクラブくしろ (釧路市)
第 2 回 (平成23年度)	西岡ヤンマ団 (札幌市)
	北海道海鳥センター ジュニアレンジャー (羽幌町)
第 3 回 (平成24年度)	ビッキーズ (鷹栖町)
	帯広第八中学校 自然観察少年団 (帯広市)
第 4 回 (平成25年度)	応募なし
第 5 回 (平成26年度)	緑の少年団 なかしべつ冒険クラブ (中標津町)
第 6 回 (平成27年度)	ながぬま緑の少年団 (長沼町)
	東川町 大雪山愛護少年団 (東川町)
第 7 回 (平成28年度)	茶内第一くるみっ子 緑の少年団 (浜中町)
	知床自然愛護少年団 (斜里町)
第 8 回 (平成29年度)	阿寒湖 グリーンクラブ少年団 (釧路市)
	中茶安別緑の少年団 (標茶町)
第 9 回 (平成30年度)	該当なし

年 度	団体・個人名
第 10 回 (令和元年度)	広尾町立広尾中学校 (広尾町)
	トムラウシ 少年グリーンクラブ (新得町)

一般財団法人
前田一步園財団

北海道釧路市阿寒町阿寒湖温泉1丁目5番2号

TEL (0154) 67-2207

Web site <http://www.ippen.or.jp>

E-mail akanko@ippen.or.jp

